TOTO

電気温水器専用湯水混合栓

TL594A型
TLC11E型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

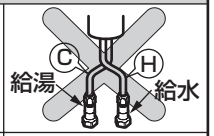
	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁止

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



給湯温度は85℃より高温で使用しない

85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

寒冷地用

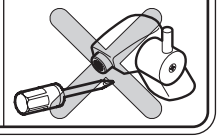
水抜コックは水抜き以外の目的で開けない

水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

分解禁止

この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

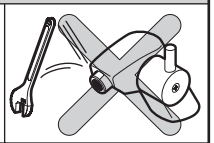


⚠ 注　意

禁止

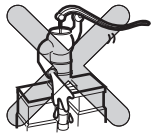
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



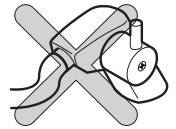
水道水以外は通水しない

井戸水などを通水すると、腐食などにより水漏れするおそれがあります。



吐水口にホースなど抵抗となるものを接続しない

電気温水器のタンク内圧が上がり、破損して水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う

水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部に保温材を巻く
また、寒冷地用の場合は、「8 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に行う

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

2 仕様

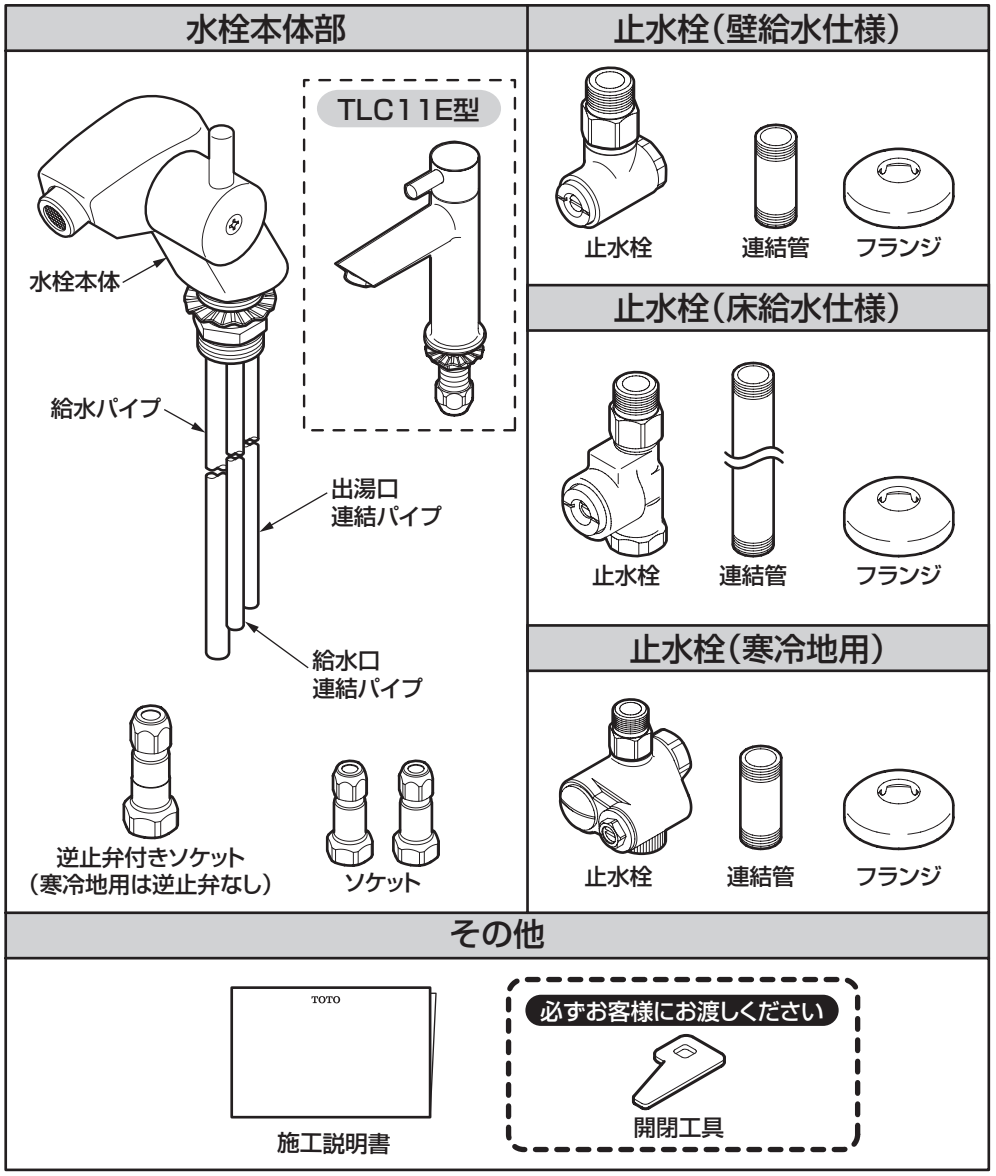
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	−20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用　　途		一般住宅洗面所用

3 取り付け前に

- ●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- ●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- ●水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- ●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

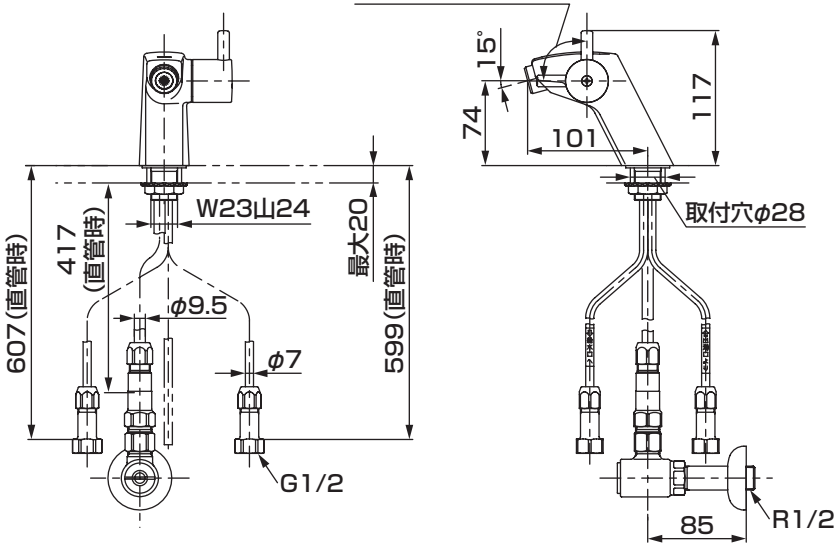


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

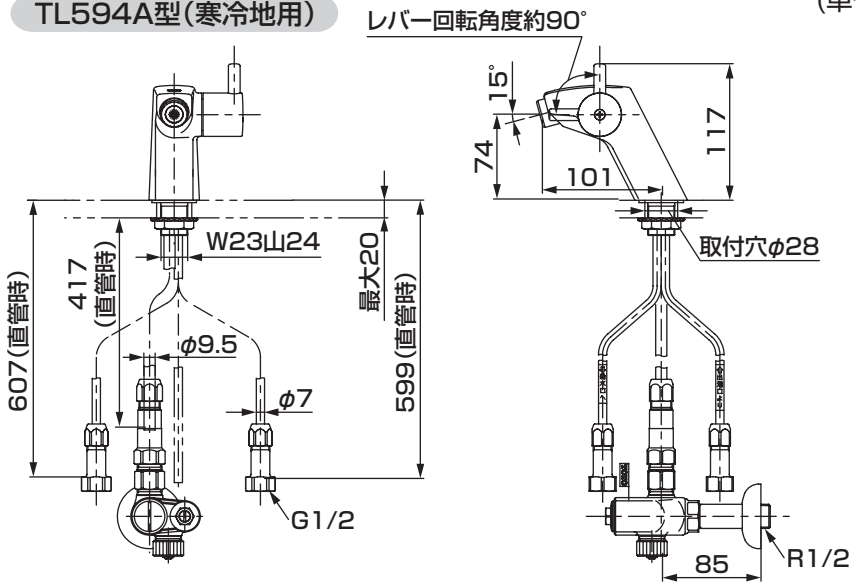
(単位:mm)

TL594A型(一般地用)

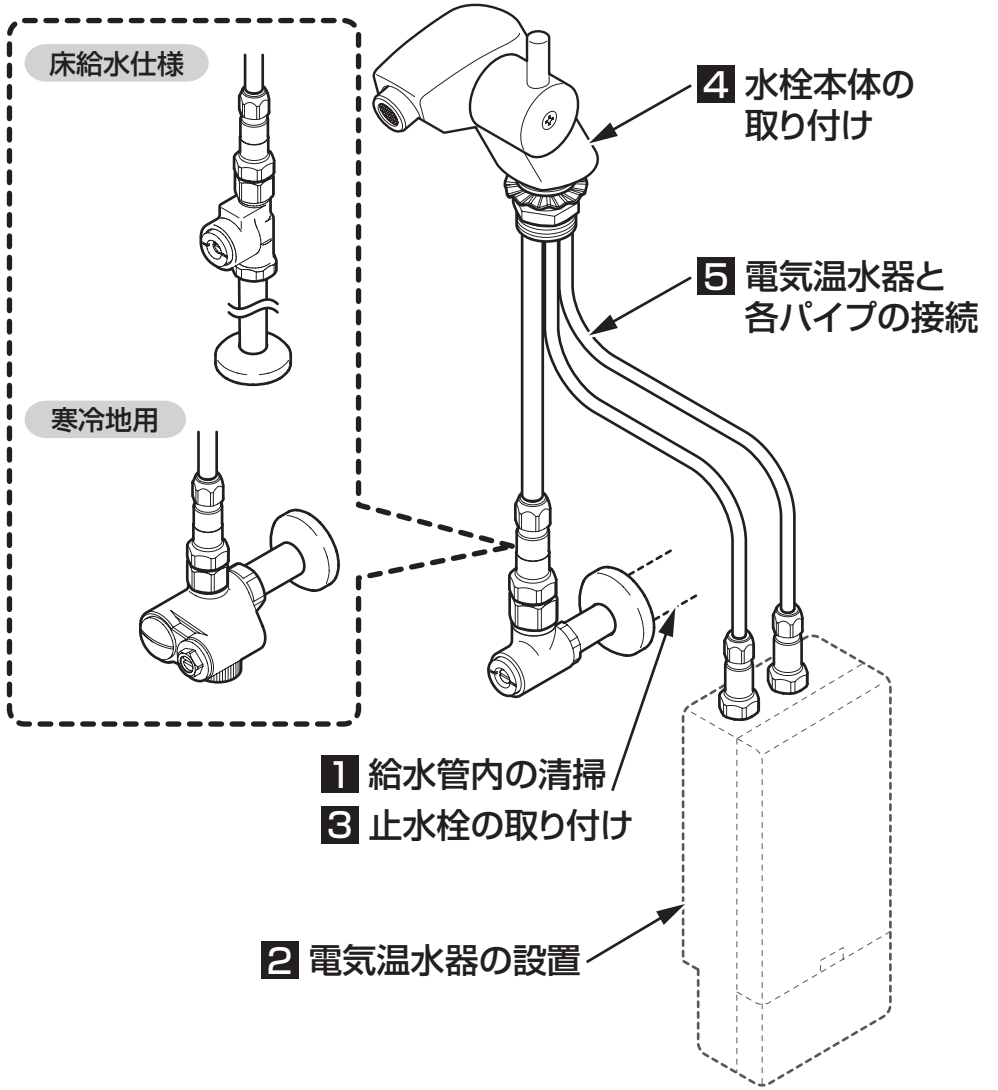


(単位:mm)

TL594A型(寒冷地用)



6-1 施工手順



1 給水管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

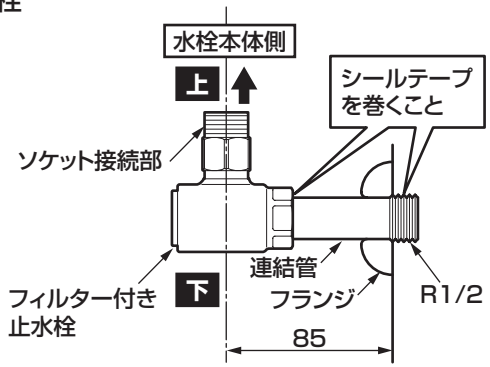
重要

2 電気温水器の設置

電気温水器に同梱の施工説明書に従い、電気温水器を設置する。

3 止水栓の取り付け

フランジ、連結管、フィルター付き止水栓を取り付ける。

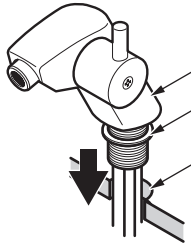


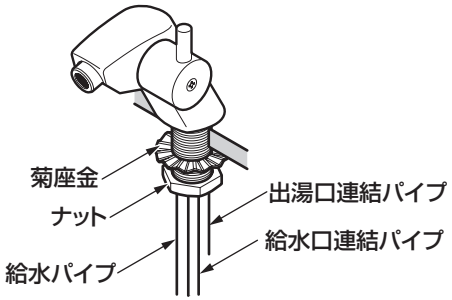
4 水栓本体の取り付け

①取付穴周囲の汚れを取る。

②水栓本体の正面が向くように取付穴に差し込む。

③給水パイプと給水口連結パイプ･出湯口連結パイプにパッキン(白)、菊座金、ナットを通し、水栓本体が正面を向くように仮固定する。

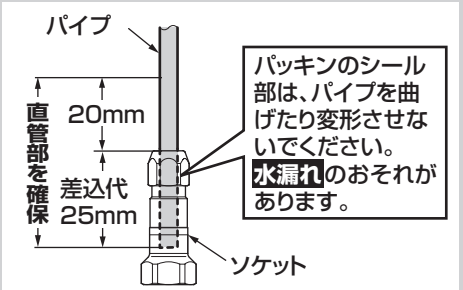




④給水口連結パイプ･出湯口連結パイプを止水栓の取り出し位置に合うように曲げて広げる。

注　意

パイプはできるだけ上方で曲げ、直管部が長くなるようにしてください。



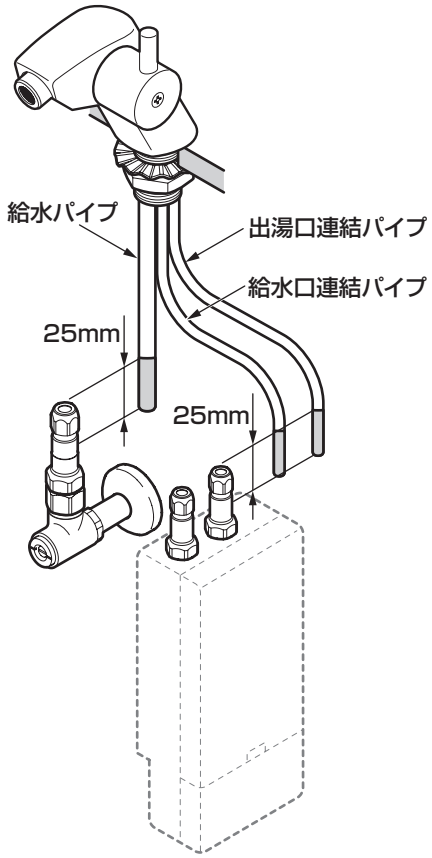
⑤パイプの必要長さを確認し、切断する。

注　意

●パイプの抜け防止のため、パイプの差込代は約25mm確保してください。

●パイプからの水漏れを防止するため、差込代(25mm)とソケットから20mmの直管部は必ず確保してください。

⑥ソケットを工具を使用して確実に止水栓と電気温水器に固定する。



裏面へつづく

5 電気温水器と各パイプの接続

①各パイプに 袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキン の順に入れる。

②一旦、水栓本体の仮固定を外して持ち上げ、各パイプをソケットに十分に差し込む。

③セパレート紙をはがし、水栓本体を本固定する。

注　意

●水栓全体が取付穴の中心にくるように固定してください。

●固定には締付専用工具（別売品：TZ37）を利用して確実に締め付けてください。

④ **パッキンをパッキンガイドに入れ、ソケットに押し付ける。**

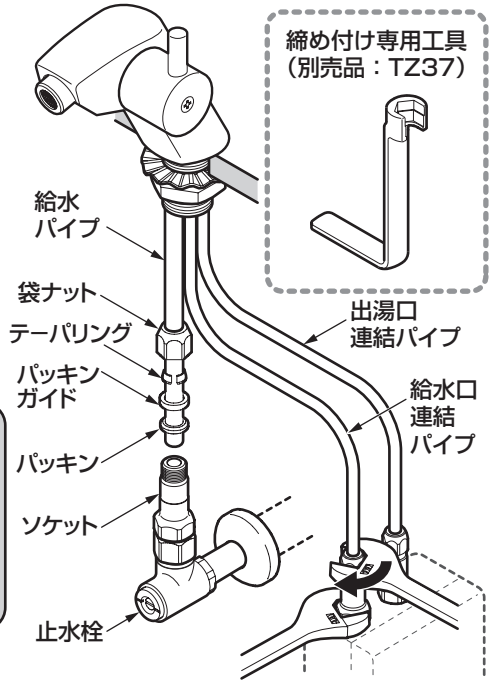
⑤ **パッキンガイドにパッキンが収まっていることを確認する。**

⑥ **袋ナットを手締めで強く締め付ける。**

⑦ **さらに工具で1回転以上締め付ける。**

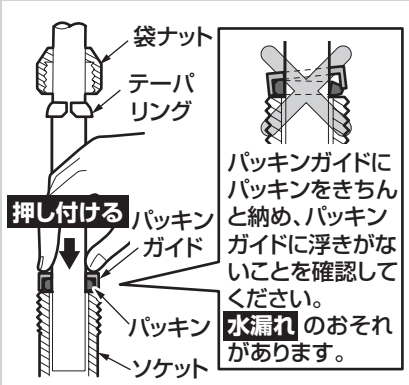
注　意

袋ナットを締め付けるときは、ソケット部が動かないように工具で固定し、供回りしないように注意してください。



注　意

袋ナット・テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きを間違えないように接続してください。

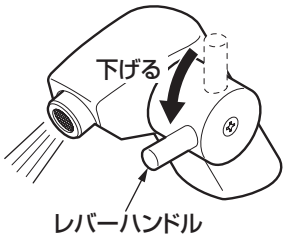


7 施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。

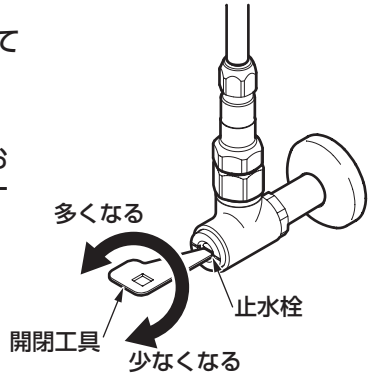
また、パイプ接続部やすき間などから水漏れがないことを確認してください。



2. 流量の調節

止水栓内部に、定流量弁(5L／分）を内蔵していますので、流量の調節は不要です。
止水栓は全開でご利用ください。

ただし、水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、付属の開閉工具でフィルター付き止水栓を回して、流量を調節してください。



3.フィルターおよび吐水口キャップの掃除

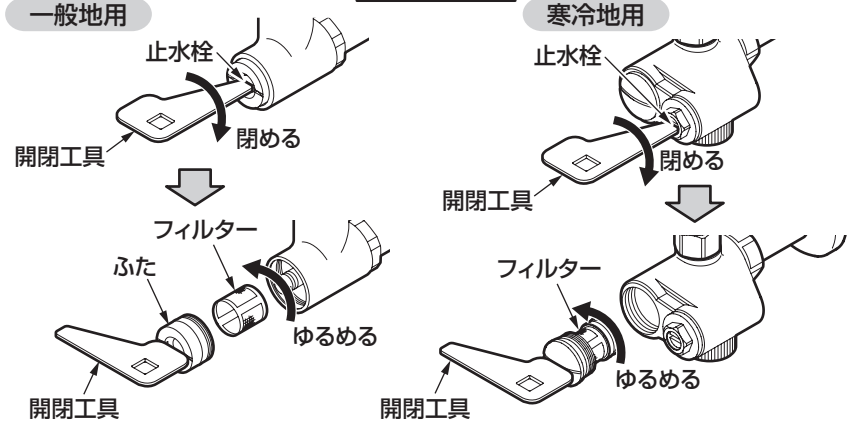
取り付け後は必ずフィルターおよび吐水口キャップを掃除してください。

フィルターや吐水口キャップが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。
また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

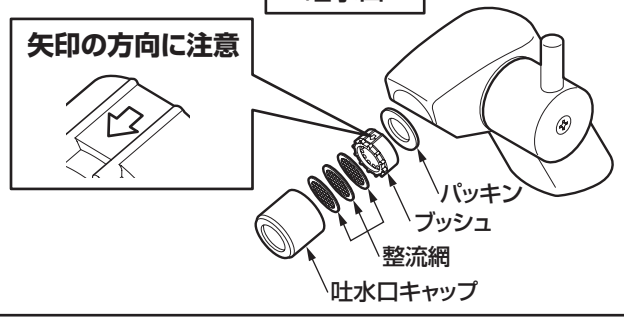
※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で**止水栓を閉めたあと、フィルターふたを外してください。**

掃除が完了したあとは、接続部から水漏れがないことを確認してください。

フィルター



吐水口



8 寒冷地の水抜き方法

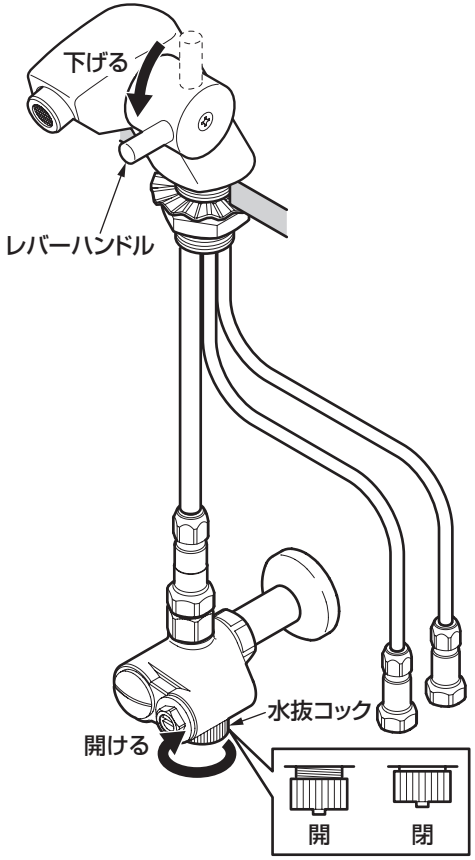
凍結が予想される時期に施工された場合は、温水器の操作要領とあわせて水抜きを行っておいてください。
また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。

2. レバーハンドルを下げる。

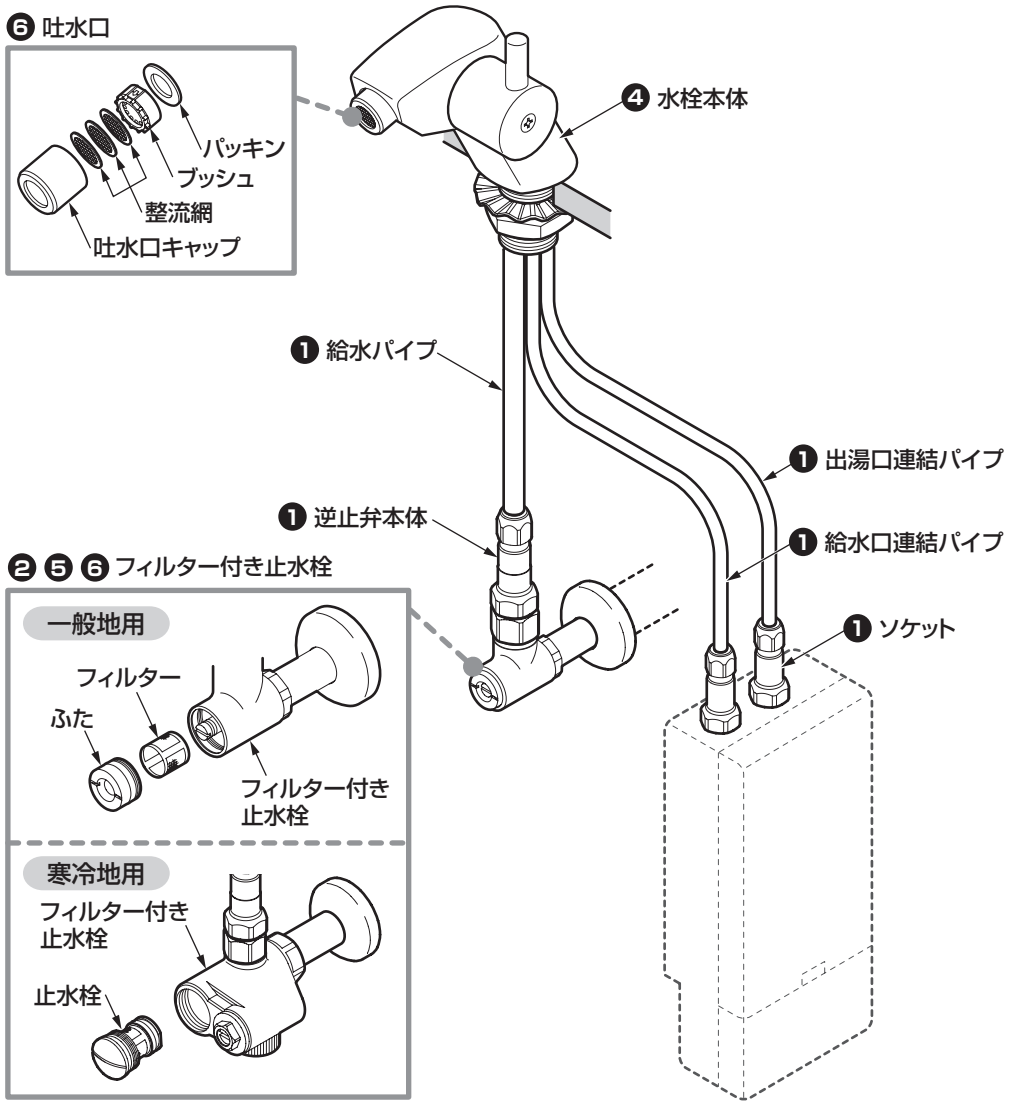
3. 水抜コックを開ける。

4. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを上げる。
(水が出ない状態)



9 点検項目

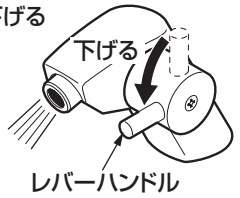
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



電気温水器への通水

①止水栓を開く

②ハンドルを下げる



※ハンドルを開いてから約2分で電気温水器のタンクが満水になり、吐水口から水が安定して出始めます。
配管やタンク内の汚れを取り除くために、しばらく水を流してから止めてください。

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❶ 各接続パイプは逆止弁本体およびソケットにしっかり取り付けられていますか?

↳ 6-3 ー 5「電気温水器と各パイプの接続」参照

❷ 止水栓部の水漏れはないですか?

↳ 6-2 ー 3「止水栓の取り付け」参照

寒冷地用の場合

❸ 水抜コックはしっかり閉まっていますか?

↳水抜コックを閉める。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❹ 水栓本体のガタツキはないですか?

↳ 6-2 ー 4「水栓本体の取り付け」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

❺ 止水栓は開いていますか?

↳ 7 2.流量の調節 参照

❻ フィルターおよび吐水口のごみ詰まりはないですか?

↳ 7 3.フィルターおよび吐水口キャップの掃除 参照

※同梱の開閉工具は、必ずお客様にお渡しください。